

ビデオ審査の実施方法案

高円宮杯事務局

2021 年 8 月現在、日本国内の各地において感染状況は悪化しており、都道府県大会主催者の皆様におかれましては、大会の実施方式について目下検討中でいらっしゃるかと存じます。私ども高円宮杯事務局は、状況が許す限り会場でのオフライン開催をお願いいたしておりましたが、各地の感染状況によっては、ビデオ審査での開催を積極的に考える必要があります。

そこで参考までに、ビデオ審査を実施する際に利用できる一般的なサービスを以下に記載いたしました。皆様のお役に立てれば幸いです。なお下記のサービスは基本、無料でご利用いただけます。また、こちらで紹介するサービスはあくまでも一例で、皆様の利用を強制するものではありません。

＜サービス紹介＞

サービス名	概要	利用方法
①Google Classroom	1 つのプラットフォーム上で作業が完結	1. 主催者が個人用 Google アカウントを作成し、Google Classroom を作成 (classroom.google.com より可能) 2. 作成したクラスルームの招待コード又はクラスコードを参加者に送信 3. 参加者が Google Classroom を通じてビデオを投稿する
②GigaFile(ギガファイル)便	参加者側からメール等でリンクを送る必要はあるが作業はデータ上で完結	1. 参加者が GigaFile 便(https://gigafile.nu/)にアクセスし、動画をアップロード 2. 取得したリンクを主催者へ送信
③Google Drive		1. 参加者が個人の Google Drive に動画をアップロード 2. 共有リンク(ダウンロード可能)を主催者へ送信
④YouTube		1. 参加者が個人の Google アカウントより限定公開又は非公開で Youtube に動画をアップロード 2. 動画のリンクを主催者へ送信
⑤DVD の郵送	物理的な媒体を送付する	1. DVD に焼く又は USB に動画データをコピー 2. 主催者へ郵送で送付
⑥USB の郵送		



①Google Classroom

Classroom ヘルプ

[「クラスを作成する」](#)


②GigaFile(ギガファイル)便

ギガファイル

[「ギガファイル便とは？」](#)


③Google Drive

Google Drive ヘルプ

[「Google ドライブにファイルやフォルダをアップロードする」](#)


④YouTube

YouTube ヘルプ

[「動画のアップロード」](#)

<各実施案のメリット及びデメリット>

サービス名	メリット	デメリット
①Google Classroom	➤ 参加者と管理者の双方にとって使いやすい ✓ 参加者は Classroom 上の指示に従うだけで動画を投稿できる ✓ 管理者は投稿された動画を一箇所で管理できる ➤ 動画の提出確認が可能 ✓ 動画を提出した後は「提出済み」と表示されるため、参加者は安心できる	➤ 個人用アカウントでは容量制限がある ✓ 個人用アカウントでは 15GB までしか利用できず、5 分の動画(約 500MB)は単純計算で 30 個、つまり 30 名分しか受け取ることができない ⇒ なお Google アカウントは、月額 250 円で 100GB の容量追加も可能
② GigaFile(ギガファイル)便	➤ アップロードにあたってアカウント作成は不要 ➤ 容量の制約がほぼない ✓ 1 ファイル 200GB まで利用可能 ➤ 比較的シンプルな利用方法 ✓ サイト上から直接メールを送ることも可能	➤ リンク先から逐一ダウンロードが必要 ✓ 参加者から受け取ったリンク一つずつにアクセスし、ダウンロードしない限り動画を観ることはできない
③Google Drive	➤ 容量の制約がない ✓ データの保管先は参加者個人の Google アカウント上であるため受け取り側のデータ容量は圧迫しない	➤ 作業が多少煩雑 ✓ アップロード方法自体は簡単だが、その後リンクを取得するために 2 クリック程度必要となる
④YouTube	➤ 容易な動画共有 ✓ インターネット上で共有されているため、主催者内での動画共有を容易に行うことができる ➤ アップロード時の丁寧な説明 ✓ 動画を投稿するためのプラットフォームのため、画面に表示される案内は丁寧でわかりやすい	➤ アップロード時に公開範囲を誤選択する可能性 ✓ わかりやすい案内はあるものの、万が一、参加者がアップロードの際に「限定公開」ではなく「公開」を選択した場合、動画を誰でも閲覧できる状態になる ➤ 動画のダウンロードは不可能 ✓ 閲覧にはインターネット環境が不可欠
⑤DVD の郵送	➤ オフラインで完結できる ✓ インターネット環境がなくても動画を送ることができる ✓ インターネット上での複雑な作業はないため、多くの人にとってわかりやすい	➤ 届いた際にデータが破損している可能性 ✓ 郵送時に DVD/USB が物理的に破損することや、そもそもデータが入っていなかったケースも想定される
⑥USB の郵送	➤ アカウント作成の必要はない	➤ 参加者が DVD/USB を購入する必要がある ✓ 比較的安価ではあるが、参加者に金銭的な負担が生じる ➤ 主催者 PC のウイルス感染のリスク ✓ 万が一参加者の使用した PC が感染していた場合、DVD/USB にもウイルスが潜在している可能性がある